

令和元年度 女子バスケットボール部 活動計画

1 指導体制

主顧問 指田 徹、大塚有紗

顧問 大谷明輝、小川一美、徳田紀子

2 年間目標

(1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像

自ら志を立て、自分が進む道を自ら切り拓き、新しい文化を創り出すことを校是とする本校において、高い志をもち、自らの個性と能力を自ら開拓し、様々な場面・分野で活躍できる資質を身に付けるべく努力を重ねる。

(2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標

前期課程は、区大会優勝、都大会出場を目指す。後期課程は都下公式戦においてベスト32を目指す。

3 指導方針

(1) 部活動の質と量の工夫

練習は原則週に5日間とし、平日1時間または2時間、休日は3時間を基本とし、使用できる施設の状況に応じ、効率的、かつ計画的に集中して練習を行う。

(2) 練習や試合等の計画

大会勝ち上がりに向けた実践力育成のため、また、外部との交流による社会性育成のため、他校との練習試合を行う。

(3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成

挨拶の励行、正しい言葉遣いを大切にし、進んでリーダーシップを取り、他の生徒の模範となるよう努める精神を育む。

(4) 生徒相互の人間関係

チームで協力して目標に向かう中で、協調性や責任感、相手を思いやる気持ちを涵養する。

(5) 学習と部活動

学習と部活動を両立する力を身に付けるため、自ら家庭での学習と学校での学習を計画的に勧める実行力を育成する。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

- 科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開する。また、その指導について全顧問、外部指導員とも共通理解を図り連携する。

(2) 生徒間の暴力禁止

- 生徒同士において、暴力による問題解決を測ることのないよう、日頃から生徒観察に努め、指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

- 顧問と外部指導員とで、部の指導や運営について基本的な考えを話し合った上で共通理解を図り、指導に当たる。

(4) 事故防止・安全配慮

- 生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動を計画的に行う。

5 部員数

	男子	女子	合計
1年	0	6	6
2年	0	6	6
3年	0	7	7
4年	0	7	7
5年	0	3	3
6年	0	4	4
合計	0	33	33

6 活動日及び活動場所

【活動日】 週5日

【休養日】 毎週 水曜日 及び 日曜日

※日曜日大会の場合は月曜日が休養日

【活動時間】

(平日) 16:00～18:00

(週休日等) 9:00～12:00 又は 13:00～16:00

【活動場所】 アリーナ

7 大会等の主な記録（過去3年）

平成28年度	平成29年度	平成30年度
(前期) 文京区大会出場 (後期) 各種大会出場	(前期) 文京区大会出場 (後期) 各種大会出場	

8 年間（月別）活動計画（今年度の参加予定大会を含む）

月	週休日の活動日数	内 容	
		前期課程（中学1年生～3年生）	後期課程（高校1年生～3年生）
4	5回	生徒会部活紹介	春季大会兼関東大会予選
5	5回	文京区大会 (ブロック大会・都大会) 部活動保護者会	高校総体（インターハイ）予選 部活動保護者会
6	4回	文京区大会（都大会）	（関東大会）
7	4回	〈代替わり〉	〈代替わり〉
8	4回	小石川カップ 中高一貫校大会	小石川カップ 中高一貫大会 夏季大会
9	5回	文京区シード権大会 新人大会 (都大会)	
10	4回		
11	4回		新人大会
12	5回	文京区1年生大会	
1	4回	平井杯	
2	4回	小石川カップ	B支部大会

3	4回	中高一貫大会	平井杯 小石川カップ 中高一貫大会
---	----	--------	-------------------------